

地域密着型金融の取組み状況について

(2020 年 4 月～2021 年 3 月)

2021 年 9 月
しまなみ信用金庫

1. 地域密着型金融の取組概況について

当金庫は、協同組織金融機関としての使命である「地域経済発展への貢献」および「地域の中小企業発展への寄与」に向けて、「地域密着型金融推進の基本方針」に沿って積極的に取り組んでまいりました。

そうした中、当金庫は、国際連合が提唱する「SDGs（持続可能な開発目標）」に賛同し、2021 年 3 月に「しまなみ信用金庫 SDGs 宣言」を策定・公表しました。

「地域創生」「豊かな街づくり」「地球環境の保全」の 3 つをテーマに、「地域にとってかけがえのない、なくてはならない」金融機関として、地域の皆様に喜んでいただける活動を通じて、持続可能な地域経済・地域社会・地球環境の実現に貢献してまいります。

以下に、2020 年度に取り組みました地域密着型金融の進捗状況をとりとめましたので、お知らせいたします。

今後もさらなる「地域密着型金融の推進」に向けて、地域の皆様の多様なニーズに的確に対応するとともに、地域経済の発展・活性化に向けて取り組んでまいります。

2. 具体的な取組内容について

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

当金庫では、2018 年度より営業統括部内に「事業支援室」を設置し、営業店と本部サポート部署一体となったコンサルティング機能をより一層発揮することで、お取引先のさまざまな課題解決をサポートし、企業のライフステージに応じた適切なソリューション提案に取り組んでいます。

また、地元自治体や専門家等と様々な分野で相互に協力しており、地域創生に取り組んでいます。

● 創業支援

創業を目指すお客様の力となるため、ひろしま創業サポートセンター、地元商工会議所・商工会等の外部機関と連携を強化し、新規開業・新規創業されるお客様の対応を行っています。

また、「三原市起業化促進連携協議会」へ協議会構成団体として参画し、三原市の創業支援体制の構築に協力しています。

2018 年度には、171 件の創業支援と 7 件の第二創業支援をサポートし、2019 年度には、206 件の創業支援と 5 件の第二創業支援をサポートし、2020 年度には 118 件の創業支援と 2 件の第二創業支援をサポートいたしました。

● ビジネスマッチング支援

コロナ感染拡大によるマッチング機会減少への対応策として、2020 年度は信金中金主催のオンライン商談会「しんきんフード EXP02020」や通販サイトの紹介など、インターネットを活用した販路拡大機会を提供しました。

● 海外事業相談

お取引先からの海外への進出や販路開拓に関する相談に、信金中央金庫海外業務支援部と連携しながら、専門家の紹介や情報提供などを行っています。

● 事業再生・経営改善支援に関するソリューション提供

お取引先のライフステージに応じて事業計画や経営改善支援の策定支援や、「広島県中小企業再生支援協議会」等との連携による事業再生・経営改善支援に取り組んでいます。

また、近年、社会的に SDGs への取組みに対する関心が高まっている中で、企業イメージの向上や新たな事業機会創設に繋がることから、多くの企業が SDGs への取組みを推進してします。

当金庫は地域金融機関として、地域社会の発展と繁栄に貢献するために、お客さまの SDGs 宣言策定を支援しています。

● 事業承継支援

営業店と本部が連携体制を構築し、事業承継や後継者問題を抱えるお客様に対して事業承継支援セミナーや事業引継ぎ支援セミナー等を積極的に行っています。

当金庫が行った事業承継支援実績は、2018 年度 25 件、2019 年度 29 件、2020 年度 31 件となりました。

また、2019 年 3 月には国内最大級の M&A プラットフォーム「TRANBI（トランビ）」を運営する株式会社 TRANBI と業務提携を行い、2020 年 4 月には信用金庫業界専用 M&A プラットフォーム「しんきんトランビプラス」の運用を開始して後継者問題に悩む企業や、M&A による更なる発展を目指す企業に対して事業承継を提供し、地域経済の持続的発展に貢献することを目的に支援サービスの拡充を図りました。

また、2020 年 7 月には、事業承継支援の強化を目的として、広島県内 4 信用金庫及び信金中央金庫、信金キャピタルによる「広島県しんきん事業承継ネットワーク」を発足させました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

● 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

2016年4月からは、従来のビジネスローン「トラスト21」「トラスト25」の取扱いを終了し、新たに「トラスト28」の取扱いを開始しました。「トラスト28」は、従来のトラスト商品が長期資金のみであったのに対し、短期資金での対応も可能とするとともに、さらに融資利率を優遇した商品とし、一層取引先の資金ニーズに応えやすい商品内容にしました。

その他にも、地元農業従事者の幅広い事業資金ニーズに対し、地域農業を資金面からサポートし、地域経済の活性化に資することを目的として、アグリビジネス支援に取り組んでいます。

(3) 地域の情報集積を活用した持続的可能な地域経済への貢献

● しまなみ信用金庫躍礎塾（若手経営者向けセミナー）の開催

地元企業の若手経営者・後継者・経営幹部及び創業者の方々を対象に、地域経済の発展・活性化に貢献していくこと、普段接する機会の少ない他地域・異業種の事業者様同士の交流の場となることを目的に、30名程度のご参加をいただいています。

今後も外部講師を招き、各種実践的なセミナーを行ってまいります。

● 地元の学生・生徒を対象とした金融教室・インターンシップの開催

金融の基礎知識や信用金庫の役割を理解いただくために、当金庫の役職員が講師となり、地元の学校等（福山葦陽高校、福山商業高校、尾道商業高校、県立広島大学）で講義等を実施しています。

さらに、対面やオンラインによるインターンシップを開催しており、2020年度は、35名の学生の参加を通じて、金融業務への理解を深める機会を提供しました。

また、Webを活用した「企業出前講座」も実施しています。

● 地元自治体との包括連携に関する協定、地域インフラを支える第三セクターへの出資

当金庫と三原市の間で2020年3月31日に締結した「包括連携協定」に基づき、協働での地域活性化推進について協議を行なっています。

また、尾道市の尾道水道を往来する民営渡船を市などが運営する第三セクターへ事業譲渡するにあたって、当金庫が株主として出資を行い、事業者の経営基盤強化はもとより、住民生活に密着したインフラの維持および観光に対する社会貢献に取り組みました。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大に対する取引先支援

①新型コロナウイルスに関する「融資相談窓口」を開設し取引先の資金繰りを支援しています。

相談窓口は休日も開催し、事業性融資、個人向けローン、住宅ローン返済に係る相談に対応いたしました。

- ②新型コロナウイルス感染症による売上減少等の影響を受けた県内の中小企業のみなさまに必要な事業資金を円滑に供給するため、「新型コロナウイルス感染症対応資金」の取扱いに積極的に取組むとともに、営業店・本部一体となった伴走型の本業支援（しなみにしかできないお手伝い）により、取引先企業の積極的なサポートに取り組んでいます。
- ③新型コロナウイルス感染症の拡大・長期化により、取引先事業者の経営環境・資金繰りはさらに厳しくなることが予想されるため、連日、危機管理対策本部主導による諸対策を講じています。

以 上